

# 松之山地区協議会視察研修、栄村

# よこのやま新聞



8月21日、松之山地区協議会の皆さんと視察研修へ。栄村の雪害救助事業について視察を行った。自宅の雪掘りが困難な高齢者世帯に対して救助員を派遣するというものだ。21名の救助員が所属し、救助員の雇用にも関連して所得補償や公務災害補償で除雪体制を安定化させている。現在の利用世帯数は161世帯。

全844世帯の約20パーセントの利用率となっている。十日町市では安心づくり事業で対応している。各市町村によって状況は異なると思うが、栄村のように行政がしっかり人員を派遣し、なおかつ雇用として手厚い補償を設けているというのは素晴らしいと思う。参考にすべき部分はあるのではないかな。



## 真夏の雪まつのり開催!

8月14日、松之山の大蔵寺高原で『真夏の雪まつり』が今年も開催された。真夏に雪で遊べる非常に楽しいイベントだ。今年は担当集落で仕事があったので12日に行われた祭り準備に参加した。雪山にかぶさったシートを外し、収納する。なかなか大変な作業だ。各関係者の皆さんが大勢集まり、共同作業で準備を終えることができた。朝の9時ごろから始まり、15時過ぎに終了。良い運動になりました（笑）お当日は来客数も多く、盛り上がった様子。



## 伝統を語り継ぐ。湯山神楽

8月26日、松之山体育館にて湯山神楽が開催された。今年も多くのお客様が来訪、楽しまれていた。私は今年も六兵衛問答という劇の神主役。昨年よりも緊張してしまい、途中で台詞をとちってしまった。なかなか『演劇』としてその役になりきるといことはなかなか難しい。今年には群馬県から私の友人夫婦が見に来てくれた。赤城山の麓に住んでいる彼らは『こういう祭りが毎年あるのは、住んでいるところにないで羨ましい。地域の人の想いが伝わってくる』と話してくれた。